

「聖書講座」

旧約聖書の現代的意義

— 「出エジプト」 伝承を中心に —

2018年 9月1日(土) 午後2時～4時

月本 昭男 先生

上智大学神学部特任教授
古代オリエント博物館館長



プロフィール
新島学園中学・高等学校、
東京大学、チュービンゲン
大学（ドイツ）で学ぶ。
1981年より、立教大学で研
究と教育に従事。
定年退職後、2014年より、
上智大学神学部にて特任教
授として旧約聖書を講義。
2016年より、東京・池袋に
ある古代オリエント博物館
館長兼任。

月本先生からのメッセージ:

旧約聖書が伝える物語のなかでも、イスラエルの民がエジプトの奴隷から解放される物語は最も印象深く語られています。ところが、古代エジプトの人々が残した膨大な記録のなかに、この出来事に言及する資料はありません。したがって、出エジプトの出来事を聖書外資料から歴史的に確認することはできないのです。しかし、歴史的には確認できない出来事を、旧約聖書を残した古代イスラエルの民は最も重要な民族の伝承として語り伝えてきました。ならば、古代イスラエルの民にとって、この物語はどのような意味をもっていたのでしょうか。また、どのような思想と信仰を人々はこの物語に畳み込んだのでしょうか。そうした点を探りながら、「出エジプト」物語のもつ現代的意味をご一緒に考えてみたいと思います。

＜主日礼拝のご案内＞

9月2日(日)
午前10時～

聖書: ルカによる福音書17章20～21節

説教者: 月本 昭男 先生

説教題: 「天国へのあこがれ」

《NHKラジオ第2 宗教の時間「物語としての旧約聖書」放送中!》

どなたでもお越しく下さい <無料>

日本キリスト教団 塚口教会

〒661-0012 尼崎市南塚口町2-34-3

TEL 06-6429-3019

阪急塚口駅南へ300m(徒歩約5分)、
2つ目の信号を右(西)。園田学園高校東側。
駐車場はございません

